

広報たかのす

広げよう
地域の文化



'94 11/15

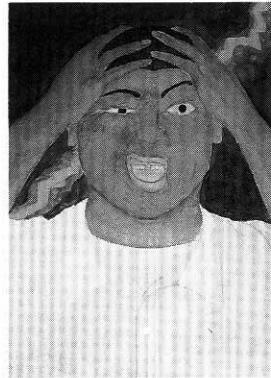
町民

ギャラリー

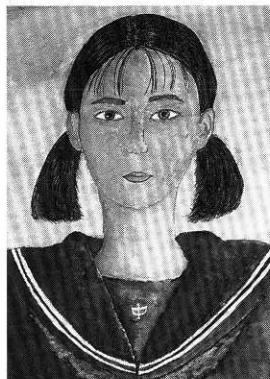
(15)



佐 藤 衛君 (鷹中3年)



本 城 羊 平君 (南中3年)



佐 藤 彰 子さん (鷹中3年)



花 田 かすみさん (南中3年)

鷹巣町文化祭・第31回小・中学校の部
作品展より(自画像優秀作品)

15 木	14 水	13 火	12 月	11 日	10 土	9 金	8 木	7 水	6 火	5 月	4 日	3 木	2 火	1 水	30 月	29 火	28 木	27 日	26 土	25 木	24 水	23 火	22 水	21 月	20 日	19 土	18 金	17 木	16 水	15 火	11 月	15 木
年賀郵便特別扱始						針供養		大雪			人権週間 (~10日)		歳末たすけあい運動 (~31日)						社会福祉研修大会 (ファルコン)			勤労感謝の日		小雪・ふるさとの産業を学ぶ会 (ファルコン)								

- 町民ギャラリー（文化祭、小・中学校の部作品展優秀作品） 2
- 町文化祭・産業祭フォトスケッチ
ほか 4
- “ふるさとを思い、楽しい一日”
東京鷹巣会開催される 6
- 野球教室と野球講演会・文化講演会のあらまし 8
- 町芸術奨励賞表彰式・花いっぱい運動表彰式行われる 10
- まちの話題 11
- 健康広場 12
- 暮らしの情報 15
- シルバー人材センターからのお知らせ 18

〔表紙のことば〕



鷹巣町文化祭のトップを切って11月2日小・中学校の学芸発表会が開催されました。会場のファルコンでは、南中の全校合唱をはじめ各学校から日頃の練習の成果が発表されると、大きな拍手が送られました。ファルコンのステージでの経験が、今後のレベルアップにつながることでしょう。（表紙は、「ノンストップ・クラシックメドレー」を立派に演奏した東小学校6年生の皆さん）

人口と世帯数 10月31日現在
住民基本台帳による

総人口	23,294人(13人増)
男	11,212人(6人増)
女	12,082人(7人増)
出生	10人 転入 38人
死亡	16人 転出 19人
世帯数	7,406世帯(2世帯減)

かわいい＆スポーツ



ファルコン

- | | | |
|----------|-------------------|--|
| 11・20(日) | 平成6年度婦人芸能祭 | ①9:30～ ②14:00～
入場／(前売) 600円 (当日) 800円全席自由 |
| 11・22(火) | セミナー「ふるさとの産業を学ぶ会」 | 9:00～17:00
主催：鷹巣阿仁広域市町村圏組合 入場／関係者 |
| 11・23(水) | 平成6年度鷹巣祇園太鼓審査会 | 13:00～17:00
入場／無料 |
| 11・29(火) | 三沢由美子ソプラノリサイタル | 18:30～20:30
入場／一般1,500円、学生1,000円 全席自由 |
| 12・4(日) | アニメ映写会 (詳細は次号で) | |
| 12・5(月) | 民謡・秋田おばこ物語「貞子」公演 | ①13:30～ ②18:30～ |
| 12・10(土) | 三国・武石ピアノ教室発表会 | 13:30～16:00
入場／無料 |
- ※詳しいことは、ファルコン (62-3311) まで

中央公民館

- | | |
|----------------|--------------------|
| 11・19(土)～21(月) | 鷹巣絵画クラブ展・チャリティー展 |
| 11・27(日) | 健康増進講演会 (主催：鷹巣郵便局) |
| 12・4(日) | 公民館まつり |

スポーツ

- | | | |
|--------------|------------------|---------|
| 11・27(日) | 全県選抜中学校新人剣道大会 | (鷹巣体育館) |
| 12・1(木)～3(土) | 町民バレーボール大会 | |
| 12・3(土)～5(月) | 県北高校新人バスケットボール大会 | |

■キヤスト

佐藤 貞子...浅利香津代(秋田市出身)
小山内洋声...浜田光夫 ほか

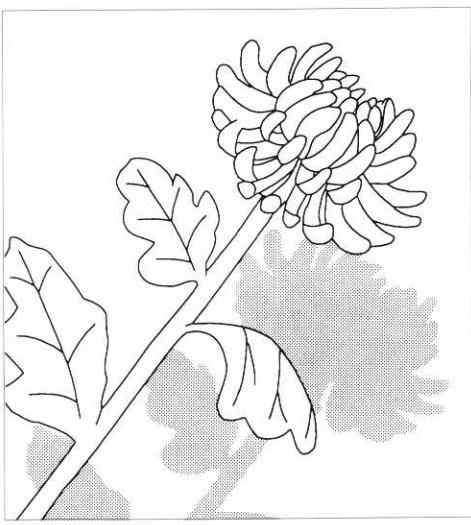
演出・作 鈴木完一郎 勉

山蜘蛛うちや風が吹く
踊りはく地木のうた
踊らぬはだうた

民謡 秋田おばこ物語

鷹巣(ファルコン) 12月5日(月)

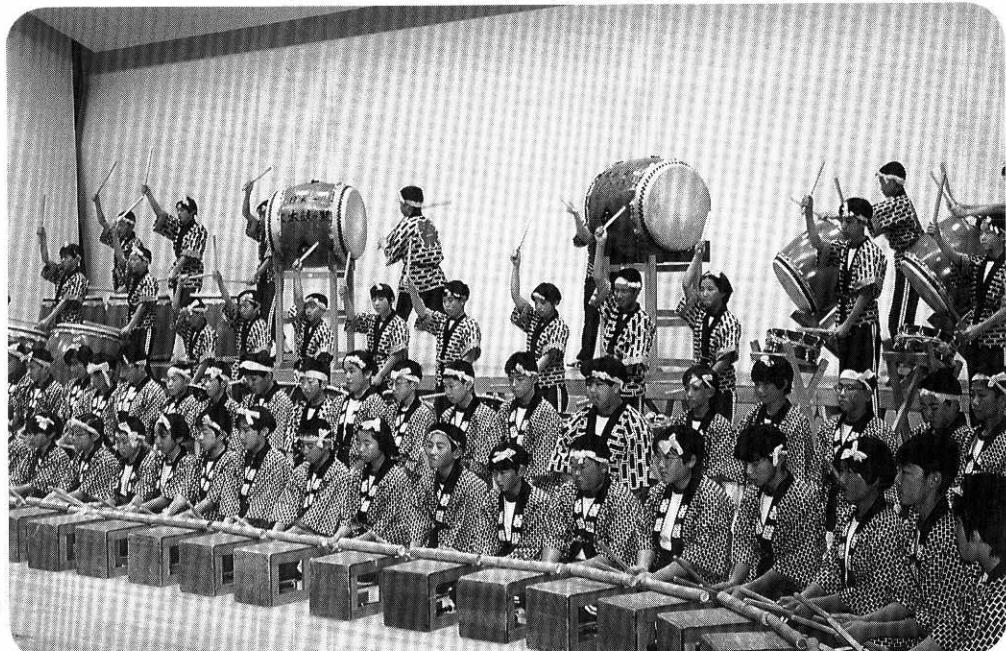
入場料：指定席5,000円 自由席4,000円 昼の部 13:30～
プレイガイド 鷹巣風土館・日活書店 夜の部 18:30～



深まりゆく秋に ゆたかな文化 活力ある産業

11・2(水)～11・6(日) 会場: 風土館、中央公民館、子供風土記館、
交流センター、鷹巣小学校

第26回 鷹巣町文化祭・第31回 小・中学校の部



第二十六回鷹巣町文化祭と第十一回鷹巣町産業祭が、十一月二日（産業祭は三日から）から六日までの五日間にわたり盛大に開催されました。初めてファルコンを会場に行われた小・中学校の芸発表は、すばらしい演奏が相次ぎ、四年振りに開催された産業祭も多彩な催しで、各会場とも大勢の人たちで賑わいましたので、その模様を紹介します。

△ファルコンのステージで迫力ある「鷹っ子ばやし」を演奏した鷹小の6年生たち。



力作ぞろいの生涯学習展は、とても人気がありました。



△邦雅祭では、箏曲、謡曲、大正琴、日舞などが披露されました。



今年も家族連れで大人気の“手づくり村”



△文化財めぐり “人物ゆかりの地を見る”
では川口・中嶋邸などを訪れました。



産業祭会場正面の実物大ジャンボ機（機首部分）にびっくり！



子どもたちに人気の
間伐材遊具



△農作物の展示では、農家の方々が真剣に見入っていました。



アパレル産業の町にふさわしく活気ある
コーナーでした。

第11回 鷹巣町産業祭

第七回東京鷹巣会

ふるさとを思い、樂しげ――

「上舟木駒踊り」の熱演で盛り上がる



△「町の発展に寄与したい」と
あいさつする簾内隆一会長。

郷土の発展は、
大きな喜びと誇り

平成六年度、第七回東京
鷹巣会が十月三十日、東京
駅丸デパート・ルビーホー
ルで会員二百人余りが参加
して開催され、町から出席
した助役、副議長、商工会
長らのほか、上舟木駒踊り
の一行を含む二十三名とど
もに、なつかしいふるさと
談義に花を咲かせ、楽しい
一日を過ごしました。

はじめに会長の簾内隆
一さんから「ふるさと鷹
巣町は、平成十年の空港
開港をめざして工事も急
ピッチで進められ、今、
大きな変貌を遂げようと
している。また、住みよ
い福祉の町づくりを重点
に施策が実行され、マス
コミ等でも取り上げられ
るなど高い評価を得てい
る。こうした郷土の発展
は大きな喜びと誇りであ
り、東京鷹巣会として今
後とも何等かの形で発展
に寄与したい」とあいさ

東京鷹巣会は、町出身
の首都圏在住者が親睦と
交流を図りながら、お互
いを励まし合うとともに、
ふるさと鷹巣町との絆を
深め合うなどの目的で昭
和六十三年に設立され、
今年は七回目の開催とな
りました。

▷「思わず、おいしい！」
△「なつかしい味を試食。



なつかしい出会い、なごやかな交流

町長日誌

10/16~31

20日（木）町議会臨時会に出席、福祉サテライト計画の第二弾として旧町地区を対象とした地域福祉センターの工事請負契約締結など三件を原案可決した。

20日（木）大学相撲鷹巣大会の決算報告会に出席。

21日（金）鷹巣阿仁広域市町村圏組合の管理者会議に出席、「消防力強化のための基本案」について協議した。

21日（金）県主催の『大館能代空港』修祓式並びに起工式に出席、現地において、松尾道彦運輸事務次官、佐々木喜久治秋田県知事らが出席するなか、関係者とともに工事の安全を祈願、その後鷹巣体育館において起工式と祝賀会が行われ、「空の時代」への幕明けを喜び合った。また、鷹巣中央公民館において「鷹巣町民大館能代空港着工を祝う会」も開催され、約250名の参加者とともに“スピード着工”を祝い合った。

23日（日）鷹巣小学校創立120周年記念式典並びに祝賀会に出席。

25日（火）ニッ井町役場新庁舎竣工式並びに祝賀会に出席。

27日（木）まちづくり町民会議に出席。

28日（金）勤労者住宅の平成7年度事業化に向けて三沢町議会議長、山田、佐藤（勘）町議会議員、藤島商工会長らとともに陳情のため上京した。

29日（土）ボーイスカウト日本連盟中央審議会の第12回日本ジャンボリー秋田会場候補地（森吉山麓高原）現地視察に向け、県知事はじめ北鹿地区の市町村長らとともに同会場での開催を熱望していることをアピールした。

29日（土）県民族芸能功労（綴子・高橋利夫氏）受賞祝賀会に出席、町並びに地元の栄誉である氏の受賞を喜び合った。

30日（日）綴子小学校創立120周年記念式典並びに祝賀会に出席。

踊りを披露する方もで
て懇親会も一段となご
やかに。



郷土が生んだ民謡界の大御所「齊藤京子さん」を囲んでパチリ！

飛び入りでふるさとの民謡を
▽ 披露する方も…。



つがあり、助役と副議長から町の様子などを報告した後、総会の議事が終了し、懇親会に移りました。懇親会では鏡開き、乾杯の後、アトラクションとして「上舟木駒踊り」（竜森郷土芸能研究会）が勇壮に披露されると、一気に会場は盛り上がり、参加者たち

は日々に「迫力があつて、すごいね！」、「昔、お盆の頃見たのを思い出して、胸にジーンと来た」などと感想を述べていました。また、会場では鷹巣から取り寄せた“焼き餅”的販売や、町物産協会が出店販売した町の特産品にも人気が集まり、なつかしい味を



△ みんな笑顔でー。
「今年も参加してよかつたね」

野球 講教 演会 &

十一月三日、世界の盗塁王、福本豊氏（元阪急・野球評論家）による野球教室と講演会が開かれ、参加した小・中学校の野球部員や指導者、父兄に、基本練習の仕方など、熱心なアドバイスがありました。



私は盗塁のことしか言われないが、「バッター」である。打率もそこそこ残したし、何と言つても、出塁しなければ盗塁はできない。

また、長い間プロでやってこれたのは、「俺はうまくないんだ、そして必ず○○を追いつくんだ」という目標を持つて、小さくとも頑丈で、そして回復力が早い身体があったからこそだと思う。そのため

りを実行したからだと思う。私は盗塁のことしか言われないが、「バッターハン」である。バッターハンは毎日欠かさず素振りを実行したからだと思う。

プロ野球には、当時の阪急ブレーブスにドラフト7位で入団したが、同期の一位が山田、二位が加藤英司だったから納得できる。また、この身体で二年目にはレギュラーになれたのは、足があつたことと、一年目のシーズン終了後監督から「こういう形でバットを振れ」と言われ、それからオフの間毎日欠かさず素振りを実行したからだと思う。

それから、練習もやり、いろいろ研究もしたが、盗塁で一番大事なことは、スタート、スピード、スライディングの中でも「まず、スタートする勇気を持つこと！」だと思う。二十年間のプロ生活は毎日楽しかったが、盗塁させられるのが一番辛かった。最後に、自分を勇気づけた五文字（⑩・おこるな、おごるな、⑪・いばるな、⑫・あせるな、⑬・くさるな、⑭・まような）を皆さんに紹介したい。

に酒量を少なくしたり、いろいろ健康管理にも努めた。

オリックスの「イチロー」が今年すごい成績を残したが、彼は人一倍の練習量とコーチや指導者に恵まれて花を咲かせた。さて、私の盗塁の話だが、特別に足が早いから盗塁できた訳ではなく、回りが知らない投手のクセを見抜いたからだった。当時近鉄の鈴木、西武の東尾はお客様だった。

野球講演会「私のプロ野球人生」より



「盗星は、まずスタートする勇気を持つて！」

文化講演会

『ことば・言葉』

講師 劇作家

野口達二氏



—プロフィール—

秋田市土崎出身。旧制秋田中学から早稲田大学へ進学。卒業後出版社に入社し、歌舞伎関係の雑誌や図書の編集者などを経て、現在は劇作家として活躍中。

平成5年、紫綬褒章を受賞。

十一月三日、たかのす風土館（ファルコン）で本県出身の劇作家・野口達二氏の文化講演会が行われました。講演では「ことば・言葉」をテーマに、自分の作品のビデオを使いながら言葉の本質や大切さなどが語られ、聴講者たちは熱心に耳を傾けていました。

以下では、野口氏が行つた講演の内容についてその要旨をお伝えします。

心に訴えるものが
あつて言葉となる

私は秋田生まれの秋田育ちで、大学時代につけられたあだなが“秋田”でした。東京っ子にも日比谷と渋谷を言い分けるのが苦手というなまりがあることを知り、なまりは気にせず堂々とおしてきました。

今は情報の時代なのでみんな情報をつめこもうとして早くになりますが、言葉というものは人の心に訴えるものがあつて初めて言葉となるものだと思います。“舌耕”という言葉があるように、しゃべりながら相手を納得・共感させ、同時に会話の中に適当な“間”をおいたりすることで言葉は生きてきます。言葉にとって“間”とは大事なものなのです。

言葉は自分に忠実に使うことが大事

現代っ子がことわざをおもしろく解釈しているように、言葉というものは時代時代で解釈され、変化していくものであつていいと思います。

七五調の俳句・短歌は簡潔に詠むといいものが作れるよう、言葉は簡潔にすればするほど良くなります。

秋田弁の中にも短い言葉があり、簡潔に相手に伝わるのを研究されたものではないかと思います。言葉は多すぎても削りすぎてもいけなく、アクセント次第で美しくも汚くなるものなのです。

また、ワープロを使う人が増えてきましたが漢字のまち

言葉は

アクセント次第

文章ではなく詩で日々の思いを残すのはいいことだと思いますので、一日一つ詩を作ることをおすすめします。「鷹巣一行詩会」をつくって作品を

誌面としてまとめれば素晴らしいと思います。また、その中から鷹巣町の詩ができるかもしれません。

心を素直に表現すれば詩になるので、言葉を難しく考えずぞんざいに考えないためにも一行詩を書いて自分の生の記録にするのはいかがですか。

しかし、例えば“婦人”的にその言葉のもつ意味や使われてきた時代背景を考えると、むしろ古くなつたから使わないというのではなく、大事にしなくてはいけない言葉もあります。

言葉は

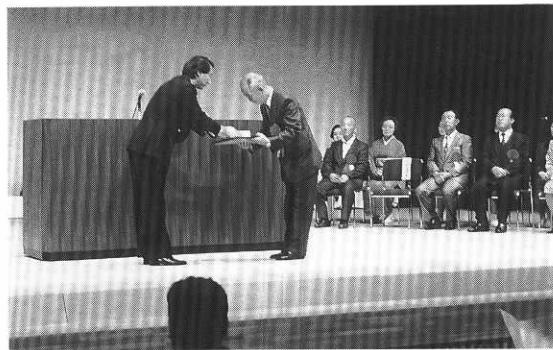
一行詩を書いて 自分の生の記録に

がいなど言葉の誤用が多く見受けられます。そういう使われ方は本人の言葉にならないのではないかと思います。

私は十年前から自分の言葉で熱い思い・魂を一行詩にしつづけています。日記代わりに毎日作れば、自分の中で言葉が生きているか死んでいるかわかると同時に自分の言葉を再生していくことが大事だとわかります。自分で言葉が生きていれば子や孫にも伝わり、自分で言葉を磨かなければ同じようになってしま

受賞おめでとうございます

平成6年度第6回鷹巣町芸術文化奨励賞表彰式
平成6年度鷹巣町花だんコンクール・第4回ひまわり
コンクール表彰式



▲岩川町長から表彰状と記念品を贈られる受賞者

芸術文化奨励賞

文化の日の十一月三日、たかのす風土館（ファルコン）において行われた表彰式では、岩川徹町長、津谷永光県議会議員などからお祝いのあいさつがあり、受賞された方々には賞状と記念品が贈られました。

以下では、各賞を受賞された団体・個人の方々をご紹介します。
(敬称略)

【洋画】県美術展入選▽成田広治（松葉町）▽田村良子（田代町）
【工芸】県美術展入選▽木越禎子（田中町）▽平田謙一（伊勢町）▽笛村繁雄（東横町）▽花田陽子（宮前町）▽河田良作（元町）▽藤島律子（太田）▽五代儀不二一

男（住吉町）▽佐藤洋子（小森）▽佐藤裕美（東横町）
【詩】県民芸術祭入選▽寺田栄子（材木町）▽辻亮子（松葉町）

【短歌】国民文化祭入選▽田中実子（花園町）▽辻亮子（松葉町）

【教育長賞】▽新田中町内会▽近藤敏子（旭町）
【中央公民館長賞】▽太田農協婦人部▽糠沢子ども会
【花いっぱい運動推進協議会会長賞】▽田中自治会婦人部▽鷹巣地区婦人会
【努力賞】▽高村岱老人クラブ▽福岡淳子（南田中）▽石川キエ（糠沢）
【夕やけ子ども会】▽坊沢生活研究グループ▽前野長寿会▽堀内実（伊勢町）
▽太田上町婦人会▽七日市本郷自治会
▽あけぼの子ども会

【奨励賞】▽南鷹巣子ども会▽高村岱
子ども会と若妻学級▽糠沢すみれ会
▽糠沢老人クラブ▽大畑子ども会▽県北自動車学校▽坊沢松寿会▽湊屋昭一郎（元町）▽ささ竹・若桜子ども会▽新星子ども会▽北都銀行鷹巣支店▽鷹巣郵便局▽仲町町内会▽鷹舟子ども会▽ひかり子ども会▽五代舟修一（元町）▽福田仁（住吉町）

花だんコンクール

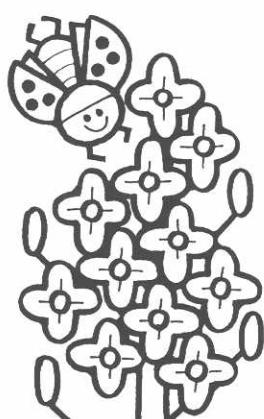
【町長賞】▽松尾フミ（太田）
【町議会議長賞】▽大堤子ども会と若妻学級

【教育長賞】▽鷹谷武義（舟場）
【町議会議長賞】▽工藤イネ（田中）
【教育長賞】▽柏木四良（南鷹巣）
【中央公民館長賞】▽澤田キヌ（前山）
【花いっぱい運動推進協議会会長賞】▽県立比内養護学校吉野分校（七日市）
【鷹巣農業改良普及所長賞】▽藤島秀（綴子下町）

ひまわりコンクール



▲ひまわりコンクール審査風景





▲感謝状が贈られた長スミさん（右側）



成
田
金
右
門
さ
ん
に
防
犯
榮
誉
銅
章

長年地域の防犯活動に尽力

地域の防犯活動に大きな功績を残したとして、このほど、成田金右門さん（六十六歳・七日市本郷）に全国防犯連合会長表彰・防犯栄誉銅章が贈られました。

成田さんは約四十年間にわたり地域の防犯活動に尽力され、現在は鷹巣町防犯協会副会長・同協会七日市支部長として率先して防犯診断・防犯パトロール等を実施しているほか、協会全体の運営にも寄与しています。

今回の受賞に、成田さんは「私一人で受賞したのではなく、支部員や地域の皆さんとの協力があつてこそ受賞したもの。これからもみんなで力をあわせて犯罪のない安全で住みよい地域にしていきたい」と喜びを語っていました。

内陸線美化に貢献した方々に感謝状 —長スミさんほかに贈られる—

秋田内陸線の開業以来、待合室や駅前広場などの環境美化に貢献してきたとして、このほど、長スミさん（七十五歳・南鷹巣）ほか三名の方に秋田内陸縦貫鉄道株式会社（畠山義郎社長）と秋田内陸沿線町村振興対策協議会（今井乙麿会長）から感謝状が贈されました。

長さんは五年前から内陸線鷹巣駅待合室の長イスに手作りの座布団を寄贈し、毎年クリーニングをしてきれいにしつづけています。

贈呈式は阿仁町役場と合川町役場に分けて行われましたが、長さんをはじめ三人の方々にはそれぞれ感謝状と記念品が贈られ、長年の労をねぎらいました。



▲出品した作品“おしゃべり”を囲んで

「私たちの家族」をテーマに全国の児童館を利用する子どもたちの作品を集めた「全国児童館造形フェスティバル」が、現在東京・青山の子どもたちで開かれており、本県から鷹巣児童館と合川町の松ヶ丘児童館の作品が出品されています。

鷹巣児童館の作品は「おしゃべり」というタイトルで、夏休み中に小学一年から五年の七人が自分の家族のことを話し合いながら、九〇cm四方のペニヤ板に話し合った内容を描いて制作したものです。

このフェスティバルは子どもの城一階ギャラリーで今月二十七日（日）まで開かれる予定になります（月曜休館・入場無料）。

—鷹巣児童館・全国児童館
造形フェスティバル—

「家族」をテーマに絵を出品

健康広場



福祉保健課からのお知らせ



高齢化を安心してのりきるために、家庭介護技術をしっかりと身につけるとともに、福祉の心を高めるよう家庭介護教室を開催します。

今回は主に農協婦人部員を対象に募集しておりますが、この機会にぜひ介護の知識と技術を身につけ、ご家庭と地域福祉に貢献していただきたいと思います。

■期間 十二月一日～平成七年一月二十六日（計十日間）

■場所 中央公民館（実習地は別）

■主催 鷹巣町福祉保健課

■共催 JA鷹巣町

※受講を希望される方は、十一月二十日までにJA鷹巣町購売課（☎六二一三七〇〇）・三浦悦子へお申し込みください。

※申込書は農協より回覧する予定です。

「家庭介護教室」（三級ホームヘルパー養成講座）受講者募集

■十一月二十一日（月）・全血（二百・四百ml献血）

○午前十時～十一時 北高等技能専門校前

○正午～十二時五十分 （株）東北メタル

○午後一時～二時五十分 鷹巣警察署前

○午後三時～午後四時 鷹巣病院前

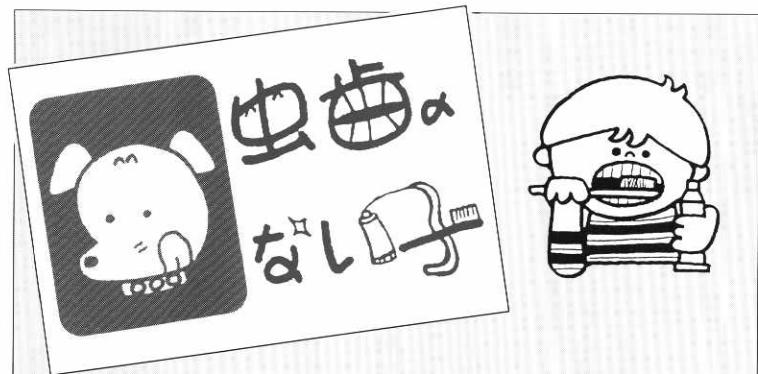
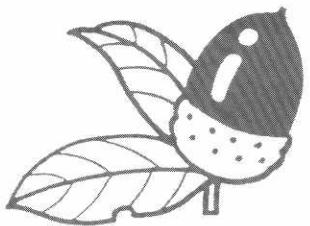
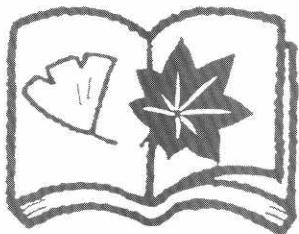
「デイサービス」とは日帰りで介護サービスを受けるもので、身体が弱かっただり日常会話や理解が不完全などで日常生活に支障のあるお年寄りを送迎して、食事や日常生活過ごせる「場」とすることと、家族の安息を少しでも確保するとともに痴呆に対する理解の「場」とすることです。町では平成四年からデイサービスを実施してきましたが今年も次のように実施することにしましたので、たくさんの方の参加をお待ちしております。

に参加しませんか

鷹巣町痴呆性老人デイサービス

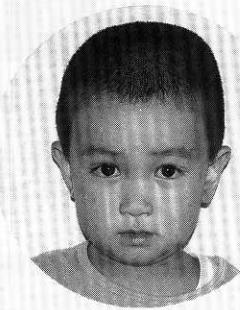


昨年のデイサービスから



～9月7日に行われた3歳児健診で

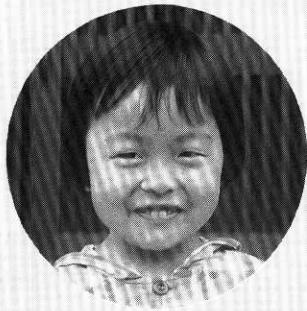
虫歯のなかったお子さんをご紹介します～



材木町
さくらば いっけいちゃん



太田
たぐち しょうぶちゃん



太田
たぐち めいちゃん



太田
たぐち さいかちゃん

—献血功労表彰— 受彰おめでとうございます

10月19日秋田市で行われた第6回
秋田県「献血感謝のつどい」で、
次の方々が表彰を受けましたので、
ご紹介します。

◆知事表彰（献血協力団体）

社会福祉法人 県北報公会

◆知事感謝状（献血協力団体）

県立北高等技能専門校
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防署

◆知事感謝状・日本赤十字社功労者

（献血100回以上）

田村 邦三さん（東横町）
森谷 敏克さん（高野尻）

◆日本赤十字社有功章

（献血50回以上）

大川 功さん（東横町）
小笠原治男さん（前山）
斎藤 範雄さん（あけぼの町）
佐藤 邦久さん（小森）
千葉 昭平さん（横渕）
長岐 孝生さん（七日市）
山城 博美さん（七日市）

11月の健康ごよみ

■21日（月）

○母子健康手帳交付と第1回妊婦教室

場所－中央公民館保健相談室

受付時間－午後1時～1時10分

（妊婦教室終了は3時）

持参－印鑑

■29日（火）

○4カ月児健康診査

対象－平成6年7月生まれのお子さん

場所－中央公民館ホール

受付時間－午後1時～1時15分

持参－母子健康手帳、バスタオル

○7カ月児健康相談

対象－平成6年4月生まれのお子さん

場所－中央公民館ホール

受付時間－午前9時30分～9時45分

持参－母子健康手帳、バスタオル

■30日（水）

○健康相談と健康教育

場所－中央公民館保健相談室

時間－午前10時～12時／午後1時～3時

内容－「腎臓病を予防する日常生活」

健康相談、血圧測定、慢性病予防教室

（ビデオによる健康教育）

〔予防接種のお知らせ〕

■17日（木）・18日（金）

○3種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳）

対象－生後24カ月～48カ月のお子さん

（17日）鷹巣地区以外

（18日）鷹巣地区

場所－中央公民館ホール

受付時間－午後1時～2時

持参－母子健康手帳

健康広場



はしか予防接種券の交付と接種日程

■接種券交付

▽日時 十一月二十八日（月）
午前九時～午後二時

▽場所 中央公民館保健相談室

■接種日程

▽十二月十四日（水） 北秋中央病院・藤原医院
津谷内科

▽十二月十五日（木） 奈良医院・としま医院

■対象

十二月十四日現在で生後十二カ月～三十六カ月の
お子さん（事情によりその期間内に接種できな
かったお子さんは、七十二カ月まで受けられます
のでお申し込みください）

■持参

母子健康手帳

夜間当番医（夜間診療）日程表

（午後6時30分～9時）

11月曜日	医療機関名	電話番号
16 水	藤原医院	62-2882
17 木	盛岡外科医院	62-1101
18 金	近藤医院	62-1155
19 土	佐々木産婦人科病院	63-0105
20 日	としま医院	62-1267
21 月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
22 火	北秋中央病院	62-1455
23 水	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
24 木	津谷内科	62-2261
25 金	遠藤クリニック	63-0515
26 土	奈良医院	62-1146
27 日	佐藤外科消化器医院	62-1420
28 月	藤原医院	62-2882
29 火	佐々木産婦人科病院	63-0105
30 水	盛岡外科医院	62-1101

○応急の診療を要する患者。

○往診はしておりません。

○仕事や職場の都合で夜間診
療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわ
らず当番医に電話等でご相
談ください。

暮らしの情報

INFORMATION



政府刊行物普及月間

農家の皆さんへ お願い

町では申告相談を二月上旬より予定しております。共同施設（揚水等）による負担金は申告時に必要経費として控除することができます。

昨年提出していただいた方には用紙を送付しておりますが、今年新たに始められた方や昨年提出しなかった方には用紙を送付できませんので、十一月末日までに経費の領収書・償還金年次表・購入証明書等を添付し、税務課町民税係まで提出してください。

届出用紙は町民税係に準備してあります。

※お問い合わせは、役場税務課町民税係（☎六二一ー一一一内線一六二・一六三）まで

県生涯学習センター所長・鈴

金銭教育 シンポジウム

一般の方々を対象として金銭教育の普及浸透をはかるため、秋田県貯蓄推進委員会主催による「金銭教育シンポジウム」が開催されます。

鷹巣ばやし 創立10周年記念 普及会 ザ 太鼓 イン ファルコン

とき 11月27日(日) 10時30分より
ところ たかのす風土館

出演
鷹巣ばやし普及会

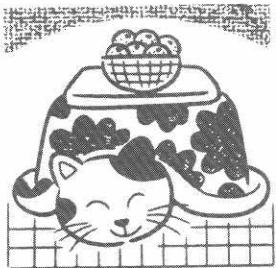
友情出演
大曲太鼓道場、合川太鼓
やまばと太鼓、田代太鼓
彌高太鼓、高山太鼓

入場無料

第4回鷹巣祇園太鼓審査会

- 日時 11月23日(水) 午後1時～4時
- 場所 たかのす風土館(ファルコン)
- 入場料 無料
- 出演予定団体 総勢250名
 - (出演校)・鷹巣小・南小・中央小・西小・綴子小
 - ・竜森小・東小・鷹巣中・南中
 - (ほか)・中央小父母の会・七日市和太鼓同好会
 - ・綴子小父母の会・東小父母の会
 - ・西小父母の会・鼓道
- 主 催 鷹巣祇園太鼓審査会実行委員会
- 後 援 鷹巣町教育委員会





おはなしでてこい

とき：11月19日（土）
ばしょ：ファルコン会議室
じかん：2:00～3:00

町立図書館ボランティアたまばこ
(えほんのよみきかせ)
(かみしばいなど)

- 木元彥氏、②パネルディスカッション「テーマ・物やお金を大切にする心を育てるには」
 （出席者）高橋重敏氏、鷹巣町立東小学校教諭・澤田真理子氏、鷹巣中学校前PTA会長・三国彰一郎氏他）
- ▽後援 秋田県教育委員会、鷹巣町教育委員会、貯蓄広報中央委員会
- ▽日時 十二月十一日（日）
 ・午前十一時三十分から受付
- ▽場所 広域交流センター及びみちのく子ども風土記館
- ▽内容 ①子ども会活動発表交流会
 ○出し物）太田番楽（鷹巣町）、五味掘餅つき踊り（森吉町）ほか
- 活動展示コーナー ○ゲーム体験コーナー ○手作りワークショップコーナー（オリジナルマグカップが作れます）
 ○縁日コーナー（ポップコーン、綿菓子・おでんなど）
 ▽入場料 無料（担し、縁日コーナーのおでんは有料）
- ▽日時 十一月二十七日（日）
 正午受付・午後一時開演
- ▽場所 中央公民館
- ▽応募方法 はがきに住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、お近くの郵便局あてお早やめにご応募ください。
 ※整理券は抽選の上、二百名の方に郵送いたします。
- ※詳しくは、鷹巣郵便局へお問い合わせください。

簡易保険 「成人病予防 講演会」

「成人病の現状と予防対策及び食生活の改善について」
 （講師）北秋中央病院院長・岸部陞氏）をテーマに、「成人病予防講演会」が行われます。（終了後民謡のアトラクションもあります）

▽日時 十一月二十七日（日）

▽正午受付・午後一時開演

▽場所 中央公民館

▽応募方法 はがきに住所・

氏名・年齢・電話番号をご記

入のうえ、お近くの郵便局あ

てお早やめにご応募ください。

※整理券は抽選の上、二百名の方に郵送いたします。

※詳しくは、鷹巣郵便局へお問い合わせください。

お詫びと訂正

十一月一日号掲載の「香典返し」で、高橋充さんを允さんと訂正のうえ、お詫びいたします。

わんぱくフェスタ'94 (全県児童館まつり)

家族みんなでご参加を！

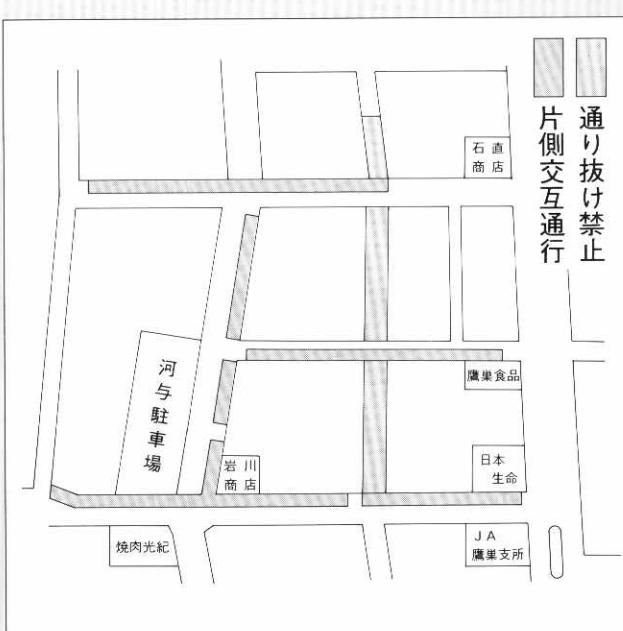
▽日時 十二月十一日（日）

・午前十一時三十分から受付

▽場所 広域交流センター及びみちのく子ども風土記館

▽内容 ①子ども会活動発表交流会
 ○出し物）太田番楽（鷹巣町）、五味掘餅つき踊り（森吉町）ほか

現在、元町地内において七工区に分けて下水道工事を行っています。工事期間は、平成七年三月三十一日までです。これに伴う交通規制は左図のとおりですので、皆様のご協力をお願いします。



愛される町にしたいね 下水道

工事に伴う交通規制について（お願い）

「ご迷惑をおかけしてたいへんすみません」

「ご迷惑をおかけしてたいへんすみません」

慶弔だより

10月16日～31日・敬称略



誕生おめでとう
ございます

笹原 美穂 (幸夫) 長女 元 町
 熊谷 拓也 (成彦) 三男 前 山
 出川 楓 (民久) 長女 糜 沢
 小笠原 広大 (光春) 長男 あけぼの町
 佐藤 琢磨 (正晴) 長男 妹尾館



二人の前途を
祝福いたします

(佐々木 明徳 新屋 敷
 井 山 美保子 森 吉 町
(赤 平 吉 秀 能代 市
(佐々木 智子 松 葉 町
(津 嶋 典 幸 田 代 町
(吉 田 優 子 前 野
(長 岐 一三志 中 畑
(工 藤 美香子 二ツ井 町

おくやみ申し上げます

佐藤 米藏 (68歳) 深 関
 堀部幸太郎 (70歳) 舟 場
 佐々木セツ子 (47歳) 藤 株
 藤島 キク (82歳) 住 吉 町
 浪岡 勲 (44歳) 高 野 尻
 長崎 鉄郎 (74歳) 大 野 尻
 成田 俊彦 (54歳) 東 横 町
 佐藤はる子 (44歳) 小 森
 堀部喜江藏 (53歳) 高 村岱

第46回人権週間 (12/4～10) 人権・団りごと相談所開設のご案内

～みなさんに、困りごとや心配ごとがありま
したら、お気軽においでください～

◆日 時 12月6日(火) 午前10時～午後3時

◆場 所 中央公民館

◆担当者 鷹巣町人権擁護委員、法務局職員

◆主 催 秋田地方法務局大館支局・大館人権擁護委員協議会

※相談は無料で、秘密は固く守られます。

〈鷹巣町の人権擁護委員は次の方々です〉

●奈良 幸恵 (大館人権擁護委員協議会長)

[住 吉 町・☎62-1146]

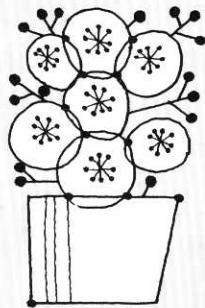
●戸嶋 玲子 [坊沢大町・☎62-1817]

●高橋美津男 [あけぼの町・☎63-0798]

●黒澤 英章 [小 森・☎66-2033]

●金森嘉次郎 [田 中・☎62-2706]

●櫻井 一 [松 葉 町・☎62-1035]



平成六年度は、五年に一
度の財政再計算の時期にあ
たり、国民の老後保障の充
実と制度の長期的安定を図
る、次のような改正が行わ
れます。

○障害基礎年金
障害の状態が良くなつた
ため、支給停止後三年経過
で失権となっていたものを
支給停止のままとし、三年
目以降に障害が悪化した場
合は再び年金が支給されま
す。

まで延長されます。

○年金額
〈例〉老齢基礎年金(年額)
七四七、三〇〇円が
七八〇、〇〇〇円に
○遺族基礎年金
支給要件となる子供の年
齢を、現行「十八歳」から
「十八歳になる年の年度末」

○高齢任意加入
六十五歳までだった高齢
任意加入を、加入期間が不
足している者に限り七十歳
まで延長されます。

年
金
だ
よ
り

⑦

シルバー人材センターで 働いてみませんか



〈シルバー人材センター地区別説明会日程表〉

月 日	時 間	説 明 会 会 場
11月21日(月)	午前9時30分～	七座健康増進センター
	午後1時30分～	坊沢公民館
11月24日(木)	午前9時30分～	綴子基幹集落センター
	午後1時30分～	栄公民館
11月25日(金)	午後1時30分～	鷹巣町役場3階大会議室
11月28日(月)	午前9時30分～	沢口林業センター
	午後1時30分～	七日市基幹集落センター

◎町内7会場で開催しますので、地元以外でも都合の良い会場
においてください。

◎会員加入申し込み（仮登録）の受付も行います。

シルバー人材センターは、法律に
より高齢者雇用就業対策の柱として
位置づけられた、健康で働く意欲の
ある高齢者の新しい就業システムで
す。参加したい方、もっと詳しく知
りたい方、お誘い合わせのうえぜひ
会場にお集まりください。

シルバー人材センターの設立をめざ
し、準備を進めています。

町民のみなさんにシルバー人材セ
ンターを理解していただくため、今
回から五回にわたってシリーズでご
紹介します。

設立の目的

「人生八十年時代」の高齢化社会
を迎えて、いかに充実した老後を送
るかが重要な課題であり、健康で、
働く意欲の旺盛な高齢者が、その体
力・能力にあわせて、生きがいをもつ
て働ける仕組みが必要です。

高齢者が長い人生経験を生かし、
誇りをもって働くことは、自らの健
康や生きがいを高めるばかりではな
く、収入を得る中で、身についた経
験や知識を社会に残し、それを次の
世代に伝えることになります。

シルバー人材センターは、まさに
このような活力ある高齢化社会を実
現することを目的にした高齢者自身

設立をめざして セシナー(1)



による自主的な団体です。

アンケート調査の結果

鷹巣町では、民生委員のみなさん
の調査協力のもとに、町内在住の五
十九歳から六十九歳までの四千百七
名を対象に調査を行いましたが、回
答者二千九百九十名のうち、シルバー
人材センターへの参加希望者は七百
三十三名にのぼりました。

ほかの四町村の調査でも、回答者
の四人に一人が参加希望者という結
果がでており、参加意識が極めて高
いことがわかりました。また、今回
調査できなかつた七十歳以上の方々
からもたくさんの問い合わせがきて
います。

問い合わせ 商工観光課商工振興係

六二一一一一内線二七二